

《 発表資料 》

2005年8月12日  
日本経済新聞社

日経平均株価等の構成銘柄の入れ替えについて

日本経済新聞社は、日経平均株価の構成銘柄である「セブン-イレブン・ジャパン」及び「イトーヨーカ堂」が、「デニーズジャパン」を加えた三社による共同持ち株会社設立に伴い上場廃止するため、以下のとおり銘柄入れ替えを実施します。

1. 除外銘柄

「セブン-イレブン・ジャパン (8183)」及び「イトーヨーカ堂 (8264)」が共同持ち株会社設立により、8月26日に上場廃止となるため、同日から両銘柄を除外します。

2. 補充銘柄

除外銘柄の事業を継承する当該共同持ち株会社「セブン&アイ・ホールディングス (3382、みなし額面は50円)」を採用するとともに、銘柄補充ルールに則り、除外銘柄と同一の消費セクター(注)に属し、市場流動性の高い未採用銘柄である「ファーストリテイリング (9983、みなし額面は50円)」を補充採用します。

「ファーストリテイリング」は8月26日から、「セブン&アイ・ホールディングス」は上場翌日の9月2日から採用します。8月26日から9月1日までの5営業日は224銘柄で日経平均株価を算出します。

注) セクター：日経の36業種分類を6つに集約した業種区分

なお、「セブン-イレブン・ジャパン」及び「イトーヨーカ堂」は日経株価指数300(日経300)の構成銘柄でもあるため、日経300は両銘柄を8月26日に除外し、同日から「ヤマダ電機 (9831)」を補充採用の上、日経平均株価と同様に9月2日に「セブン&アイ・ホールディングス」を採用します。この間は299銘柄による算出となります。

以上